

～水俣の魅力を地域が誇り、高め合い、発信して、水俣に出かけたくなる人を何度も呼び込む観光を目指します～

1 取組の方針と施策の方向性

本市の強みである優れたスポーツの拠点「エコパーク水俣」と観光の拠点「道の駅みなまた」を最大限に活用しながら、湯の児温泉や湯の鶴温泉等を含む観光資源の磨き上げと旅行者のニーズに応じた観光コンテンツの創出、さらには効果的な情報発信を進めることで、各地域における交流人口の増加と滞在時間の延長を図り、市内全体に経済効果を波及させます。

2 計画の期間

令和5年度（2023年度）から令和8年度（2026年度）までの4年間とします。



3 施策の体系図

方針1 戦略的な観光	方針2 「学ぶ・留まる」を促す観光
施策1 ターゲットを明確にしたプロモーションの強化 施策2 水俣ならではの魅力的な観光消費の促進 施策3 観光資源の発掘と磨き上げ 施策4 持続可能な担い手づくり	施策1 スポーツ施設やアクティビティをフックにした誘客促進 施策2 回遊性の向上と滞在時間延長の推進 施策3 SDGsの取組を生かした観光の推進
方針3 リピートしたくなる観光	
施策1 湯の児地域における資源を生かした観光コンテンツの創造・充実 施策2 湯の鶴地域における資源を生かした観光コンテンツの創造・充実 施策3 エコパーク水俣や市街地の資源を生かした観光コンテンツの創造・充実	

4 推進体制

PDCAマネジメントサイクルにより、「水俣市観光振興計画等策定委員会」による効果検証を行い、更なる施策の充実・展開につなげます。

5 数値目標

本計画に基づく計画を展開することにより、2026年（令和8年）における目標数値を、コロナ禍以前（2019年（令和元年））を基準として10%増、湯の鶴地域においては、施設規模を考慮して5%増を目指します。
 ※エコパーク水俣利用者数については2022年（令和4年）を基準とします。

【参考】具体的な取組

方針1 戦略的な観光

施策1 ターゲットを明確にしたプロモーションの強化 ・パブリシティやSNS等による情報発信の強化とHPの充実 ・「旅マエ」、「旅ナカ」、「旅アト」など段階を踏まえた情報発信やプロモーションの強化 ・交通の利便性を活かしたターゲット地域への発信 ・広域連携の推進 ・国民保養温泉地指定を活用した誘客の促進 ・地域住民に向けた情報発信	施策3 観光資源の発掘と磨き上げ ・観光関連事業者の経営強化と魅力向上 ・観光資源として誘客のある施設の維持管理 ・老朽化した看板の更新や多言語化 ・水俣市文化財保存活用地域計画の作成
施策2 水俣ならではの魅力的な観光消費の促進 ・“みなまたブランド”づくりと農水産品や加工品の販路拡大 ・歴史ある特産物「ハゼ（鱈）」の振興 ・スイーツ等『食』に特化した観光消費の促進 ・江口寿史氏の作品と人物像を背景とした誘客 ・観光関連事業者等の事業拡大や新事業展開	施策4 持続可能な担い手づくり ・宿泊施設をはじめとした観光関連事業者の事業承継支援 ・観光振興の担い手の育成 ・創業にチャレンジしやすい環境づくり

方針2 「学ぶ・留まる」を促す観光

施策1 スポーツ施設やアクティビティをフックにした誘客促進 ・スポーツ大会の誘致 ・スポーツ大会と連動した各種メニューの開発 ・湯の児地域の観光交流拠点の整備 ・湯出七滝の体験型コンテンツの造成	施策3 SDGsの取組を生かした観光の推進 ・サイクルツーリズムの推進 ・多様な旅行者への配慮の促進 ・水俣病の歴史と教訓の発信と再生した水俣の海を活用した体験型・環境学習の推進 ・高等教育・研究活動の推進における観光資源の活用
施策2 回遊性の向上と滞在時間延長の推進 ・温泉や既存資源を活かしたワーケーションの推進 ・江口寿史氏の作品と人物像を背景とした誘客（※再掲） ・インバウンド需要の着実な取込 ・水俣病資料館の情報発信の強化 ・歴史や文化を生かした郷土愛の醸成による観光の素地づくり ・観光資源を生かした人間ドック受検者の誘致	

方針3 リピートしたくなる観光

施策1 湯の児地域における資源を生かした観光コンテンツの創造・充実 ～海の効き湯“魅力ある湯の児温泉づくり”～ ・持続的な景観維持 ・空き店舗や空き旅館の利活用促進 ・湯の児地域の観光交流拠点の整備（※再掲） ・海洋資源や夕陽を生かした着地型観光の推進 ・温泉の効能の調査と発信 ・二次交通網の確保と関係事業者と連携した利用促進策の検討 ・湯の児島や観月橋の整備等 ・春の観光花見船の運航や太刀魚釣りの実施 ・湯の児公園や公園周辺の整備 ・フィッシングパーク及び周辺の整備 ・海水浴場等の整備 ・湯の児海岸を活用した観光スポットの造成と市道湯の児線の改良 ・県道水俣田浦線の道路整備の促進	施策2 湯の鶴地域における資源を生かした観光コンテンツの創造・充実 ～山の効き湯“湯の鶴癒しのむらづくり”～ ・持続的な景観維持 ・温泉の効能の調査と発信 ・空き店舗や空き旅館の利活用促進 ・湯出七滝の体験型コンテンツの造成（※再掲） ・湯の鶴温泉保健センターほたるの湯の活用促進 ・旧湯出中学校の活用 ・鈴虫祭り等のイベントの活性化 ・二次交通網の確保と関係事業者と連携した利用促進策の検討（再掲）
	施策3 エコパーク水俣や市街地の資源を生かした観光コンテンツの創造・充実 ・エコパーク水俣の広域交流の拠点化 ・道の駅みなまたの魅力の維持向上 ・水俣港の活用と水俣湾周辺の体験型観光の推進